

e-VLBI 研究チームが Internet2 から初代 IDEA賞を受賞しました！！

米国ワシントンDCで開催されたInternet2 2006 Spring Member Meetingにおいて、今回初めて創設されたIDEA (Internet2 Driving Exemplary Applications) 賞の表彰式があり、Very High Speed Electronic Very Long Baseline Interferometry (e-VLBI)が他の3つの研究チームと並んで表彰されました。受賞対象となったe-VLBIは、日米欧のVLBI研究機関と研究用高速ネットワークを運営する多くの研究機関が協力し、高速な国際ネットワーク接続によって従来不可能であった地球規模のリアルタイムVLBI観測を可能とし、自然科学の研究におけるネットワークの価値を大きく高めたこと、および国際的な規模での高速ネットワークの構築を牽引したことが高く評価されました。(YK記)



表彰式(2006年4月26日)で受賞スピーチを行うMITヘイスタック観測所のAlan Whitney氏(右端)。共同受賞者として、欧州VLBI研究機構 Arpad Szomoru氏、NTT研究所魚瀬尚郎氏と並んでNiCTから小山泰弘研究マネージャー(写真では代理受賞の平原正樹ネットワークアーキテクチャグループリーダー)が表彰を受けました。



IDEA賞は、研究および教育を目的としたInternet2の提供する傑出した高速ネットワーク環境を活用し、その可能性を飛躍的に高めることに貢献した革新的なネットワークアプリケーションを表彰することを目的として創設されました。